

## 事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表： 2021 年 2 月 6 日

事業所名：子どもサポート教室「きらり」 武蔵新城校

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			療育スペースをパーティションで区分しています。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			各職員が、児童に適切に関わるようにしています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			○	個室ではなくセミオープンな空間において、可能な限り本人の特性に配慮を行っています。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			業務改善のために全員 PDCA サイクルに参画できるようにしています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			評価表の結果をもとに会議を開き、保護者様の意向を把握しました。それを踏まえての業務改善に努めて参ります。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			きらり武蔵新城校のホームページに毎年、結果を掲載しております。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	神奈川県による、第三者評価項目を基に事業所内で月一回、独自の評価活動を継続しています。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			外部巡回講師の研修を受けています。発達支援研究所が主催の定例研修も実施しております。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			支援時の様子、発達検査の結果などをふまえアセスメントをしています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			法人が定めたアセスメントシートを使っています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			各職員の意見を集約して、活動プログラムを立案していきます。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			支援のねらいに対して、中心と、周辺領域に広がりを持つ支援となるよう配慮しています。今後もその時の発達段階に応じた活動となるよう、配慮と工夫をしていきます。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			指導員は計画を参考に、お子様の現状に合わせた支援をします。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか			○	今年度の小集団は、コロナウイルス感染対策もあり、実施しませんでした。今後の状況を踏まえて、ご希望に即して実施を検討いたします。

	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎日、午前の時間帯で、職員全員でのミーティングをおこなっています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			翌日のミーティングで情報共有をしています。また、必要に応じて、早めに共有が必要な事項は、迅速に打ち合わせをおこなっています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			最長でも6か月以内に実施し、現状に即した計画づくりをしています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか		○		
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか			○	今年度は該当ありませんでした。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか			○	送迎未対応のため、学校と直接的な情報共有や連絡調整はありません。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	今年度は該当ありませんでした。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○	今年度、保護者様のご希望はありませんでした。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	今年度は該当ありませんでした。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	コロナウイルス感染対策もあり、実施しませんでした。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか			○	「豊かな地域療育を考える連絡会」に定期的に参加しています。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	お子さまへの支援に限らず、保護者様ともお困りごとを共有したいと思っています。振り返り時や個別相談時に、ご家庭での対応について、助言を引き続きおこなっていきます。

保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時や計画更新時に実施しています。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			保護者様の困りごとをお聞きし、必要に応じて、時間を設けて面談をおこなっております。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	コロナウイルス感染対策や、個人情報の保護の観点から、開催しませんでした。ご要望によっては検討させていただきます。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	○			
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	コロナウイルスの感染対策のため、対外行事は総合的に自粛いたしました。
非常時等の対応	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			非常時のマニュアル・ガイドライン等は、冊子や掲示にて、ご覧できるようにいたします。
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			
	④⑰	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			きらりの虐待防止委員会を設置し研修をおこない、強い防止の意識のもとで対応しております。
	④⑱	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			○	該当する利用者様がおりませんでした。
	④⑲	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	食事提供が無く、該当ありません。
	④⑳	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			

## 保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表： 2021年 2月 6日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」武蔵新城校 保護者等数(児童数)：40 回収数：31 回収率 78%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見・ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	22	9	0	教室の構造上、全体的に狭さがありますが、可能な範囲での充実した支援と、お子さまの安全確保に努めてまいります。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	26	5	0	法令を遵守した職員数を配置しております。また、研修・研鑽を重ね、専門性を高めてまいります。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	8	17	6	構造上、手すりなどの設置は難しいのですが、利用者様が安全にご利用できますよう、配慮を重ねてまいります。
適切な 支援の 提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、 <u>放課後等デイサービス計画（※1）</u> が作成されているか	25	6	0	「いつも丁寧にニーズを聞いて、対応をしてくださる」⇒ 今後もできる限り、お子さまの成長を考えて計画づくりをしていきます。
	⑤	<u>活動プログラム（※2）</u> が固定化しないよう工夫されているか	24	7	0	「今の状態に合った内容をその都度考えて下さっている」⇒ その時期によってお子さまに必要な要素・療育内容が変わるので、都度適した内容を随時考えております。
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	8	22	保護者様のご要望したいでは検討いたしますが、コロナ禍で活動が制限される可能性があることをご承知おきください。
保護者 への 説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	29	2	0	
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	27	4	0	「課題と感じていることを伝えと、一緒に考えてくださる」⇒ 保護者様と一緒に、お子さまの発達・成長に寄り添って行ければと思います。
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	22	8	1	「いつもアドバイスを頂けて助かっている」⇒ ありがとうございます。お子さまのために、少しでもお力添えできればと思っております。
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	0	14	17	「不要に思う」⇒ 保護者様のニーズ（必要・不要）に合わせ、必要に応じて検討いたします。また、今年度はコロナ禍も影響し、人数を集めての諸活動が困難でした。今後、連携活動を実施する場合は、リモートでの開催もあり得ますので、ご承知いただければと思います。

	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	19	12	0	「苦情を伝えたことがない」⇒もし、何か苦情・要望等ございましたら、より迅速に検討し、適切に対応することを心がけております。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	26	5	0	今年度より、新たに LINE での情報伝達を始め、利用者様の様子を保護者様へ、より詳しく、より利便性を高くして、情報共有に努めております。
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	14	16	1	「行っているようだが、発信していないように思う」⇒きらりのホームページにて、随時ブログを更新しております。利用者の皆様に知っていただけますよう、より周知してまいります。
	⑭	個人情報に十分注意しているか	24	7	0	契約時の「個人情報に関する同意書」に基づいて、個人情報の取り扱いに、十分に注意を払っております。
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	21	8	2	非常時の各マニュアル・ガイドライン等は、冊子や掲示にて、利用者様にご覧できるようにいたします。
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	10	17	4	定期的に防災・避難訓練を実施しておりますが、保護者様にも知っていただけますよう、実施内容をその都度、周知してまいります。
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	30	1	0	「先生とゲームや話をすることを楽しみにしている」⇒お子さまにストレスを感じさせない、心の居場所として過ごせますよう、心がけております。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	27	4	0	「長年にわたってお世話になっている」「親子ともども、頼りにさせてもらっている」⇒ あたたかいお言葉ありがとうございます。今後もお子さま方のために、スタッフ一丸となって精進いたします。

(無回答は「どちらともいえない」に含めます)

(※1) 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii

(※2) 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。